



344頁
予価:本体840円(税別)
ISBN978-4-591-19157-6
8101-548



図書館のお夜食

「好き」の気持ちだけでは乗り越えられない夜に。
『三千円の使いかた』『#台所のあるところ』の著者が、仕事を愛し、
仕事に疲れた人たちを描いた、本×仕事×食の長編小説。

書店員を辞めようかと悩んでいた乙葉は、SNS で知った「夜の図書館」で働くことに。開館時間は19時~24時で、“実在する本に登場する料理”のまかない付き。そして、普通の図書館とは異なり、亡くなった作家の蔵書が集められた、“本の博物館”のような図書館だった。本好きだけれども、心に傷や秘密を抱えた図書館員達と働く中、乙葉は「仕事」について考えていく。好きな仕事に疲れてしまった人や人生に立ち止まりたくなった人に贈る、心に染み入る長編小説。

◎初回配本限定 著者メッセージ入りしおり封入



著者プロフィール
原田ひ香
(はらだ・ひか)

1970年神奈川県生まれ。「リトルプリンス2号」でNHK公募ラジオドラマ最優秀作、2007年「はじまらないティータイム」ですばる文学賞受賞。『三千円の使いかた』で宮崎本大賞受賞、100万部を超えるベストセラーに。26年「#台所のあるところ」で直木賞候補となる。「ランチ酒」「古本食堂」「三人屋」シリーズ他、『喫茶おじさん』『月収』など著書多数。

オススメ併売



『古本食堂』(ハルキ文庫)



336頁(予定)
予価:本体860円(税別)
ISBN978-4-591-19138-5
8111-427



忌部家の娘と龍神の契約婚

宿命を負った二人が織りなす
和風シンデレラ・ロマンス

時は明治。この国では二百年に一度、世に穢れが満ちると、それを一身に背負う神が人の姿を借りて生まれる。そして、神殺しの宿命を背負った娘は、ただ「貴峰」という名だけを頼りに帝都へとやってきた。ところがそこで、美貌の軍医と出会い、契約婚をするに……神を殺すか、この国を滅ぼすか。神殺しの娘が辿り着いた結末は——。

オススメ併売



『柘榴石の花嫁』



『ひねくれ給仕は愛を観ない』



著者プロフィール
麻生ミカリ
(あそう・みかり)

2011年デビュー。『天々瀬夫妻の秘密 不器用な夫の溺愛が始まる日』(小学館文庫キャラブン!)ほか多数。